

第3項 自転車やバイク窃盗に対する意識

他人の自転車やバイクを盗んだり勝手に使うことはいけないと思うかどうかという意識について、『他人の自転車やバイクを盗んだり勝手に使うことはいけないことだと思う』と質問文を提示し「1＝全く思わない」「2＝あまり思わない」「3＝どちらでもない」「4＝ややそう思う」「5＝とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、他人の自転車やバイクを盗んだり勝手に使うことはいけないと「全く思わない」と回答した者は0.7%、「あまり思わない」と回答した者おらず、「ややそう思う」と回答した者は13.5%、「とてもそう思う」と回答した者は84.4%であった（図2-2-3）。この結果、他人の自転車やバイクを盗んだり勝手に使う行動に対して、いけないことであるという意識が強いことが明らかになった。男女別の内訳をみると、「全く思わない」と回答した者が男子では0.7%、女子はおらず、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に18.9%、77.0%、女子では順に7.5%、92.5%であった。以上の結果、他人の自転車やバイクを盗んだり勝手に使ったりする行動については、女子の方が男子よりも「いけないことである」とより強く考えていることが明らかになった。

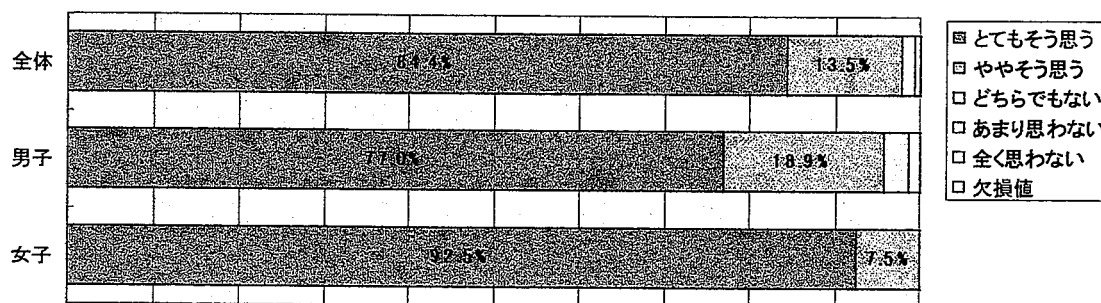


図2-2-3 自転車やバイク窃盗に対する意識

第4項 万引き等に対する意識

他人のお金や物をこっそりとることはいけないと思うかどうかという意識について、『他人のお金や物をこっそりとることはいけないことだと思う』と質問文を提示し「1＝全く思わない」「2＝あまり思わない」「3＝どちらでもない」「4＝ややそう思う」「5＝とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、他人のお金や物をこっそりとることはいけないと「全く思わない」「あまり思わない」と回答した者はおらず、「ややそう思う」と回答した者は14.2%、「とてもそう思う」と回答した者は83.7%であった（図2-2-4）。この結果、他人のお金や物をこっそりとる行動に対しては、ほとんどの者がいけないことであるという意識をもっていることが明らかになった。男女別の内訳をみると、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に20.3%、78.4%、女子では順に7.5%、89.6%であった。以上の結果、他人のお金や物をこっそりとる行動については、性別に差がなく、同程度にいけないという意識をもっていることが明らかになった。

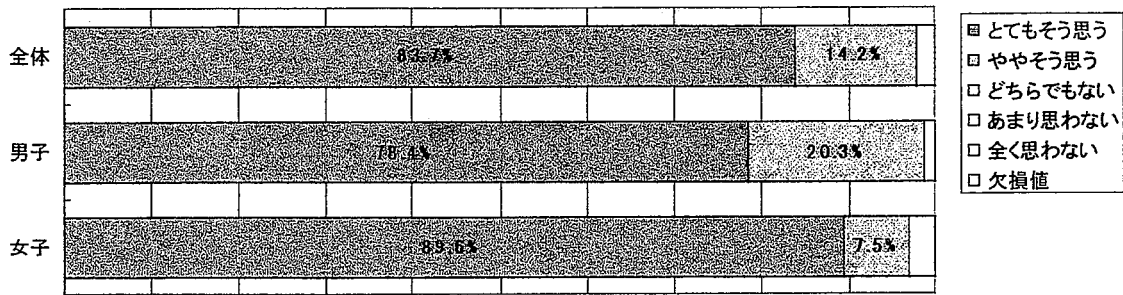


図2-2-4 万引きに対する意識

第5項 恐喝に対する意識

人をおどしてお金や物を取り上げることはいけないと思うかどうかという意識について、『人をおどしてお金や物を取り上げることはいけないことだと思う』と質問文を提示し「1＝全く思わない」「2＝あまり思わない」「3＝どちらでもない」「4＝ややそう思う」「5＝とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、人を脅してお金や物を取りあげることはいけないと「全く思わない」「あまり思わない」と回答した者はおらず、「ややそう思う」と回答した者は10.6%、「とてもそう思う」と回答した者は88.7%であった（図2-2-5）。この結果、人をおどしてお金や物を取り上げる行動に対しては、ほとんどの者がいけないことであるという意識をもっていることが明らかになった。男女別の内訳をみると、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に14.9%、85.1%、女子では順に6.0%、92.5%であった。以上の結果、人をおどしてお金や物を取り上げる行動については、性別に差がなく、同程度にいけないという意識をもっていることが明らかになった。

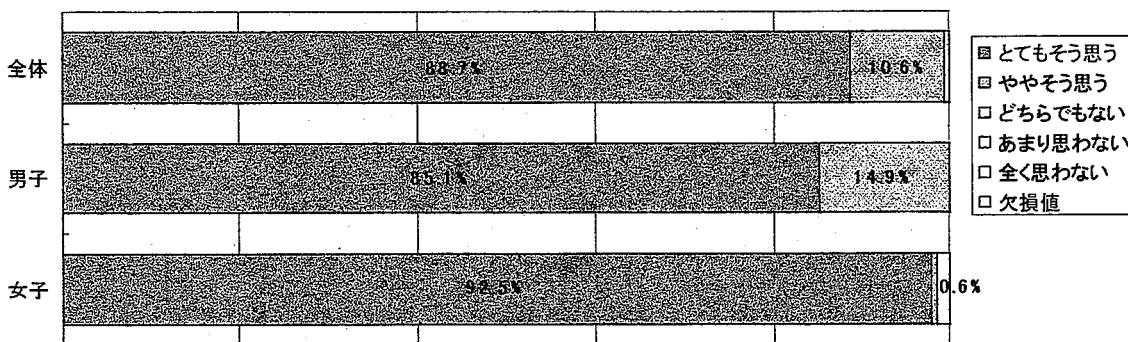


図2-2-5 恐喝に対する意識

第6項 暴行に対する意識

人を殴ったり蹴ったりしてケガをさせることはいけないと思うかどうかという意識について、『人を殴ったり蹴ったりしてケガをさせることはいけないことだと思う』と質問文

を提示し「1 = 全く思わない」「2 = あまり思わない」「3 = どちらでもない」「4 = ややそう思う」「5 = とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、人を殴ったり蹴ったりしてケガをさせることはいけないと「全く思わない」と回答した者は0.7%、「あまり思わない」と回答した者は2.8%、「ややそう思う」と回答した者は22.0%、「とてもそう思う」と回答した者は58.9%であった（図2-2-6）。この結果、人を殴ったり蹴ったりしてケガをさせる行動に対しては、いけないことであるという意識が強いことが明らかになった。男女別の内訳をみると、「全く思わない」「あまり思わない」まで男子では順に1.4%、5.4%、女子ではおらず、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に27.0%、41.9%、女子では順に16.4%、77.6%であった。以上の結果、人を殴ったり蹴ったりしてケガをさせる行動については、女子の方が男子よりも「いけないことである」とより強く考えていることが明らかになった。

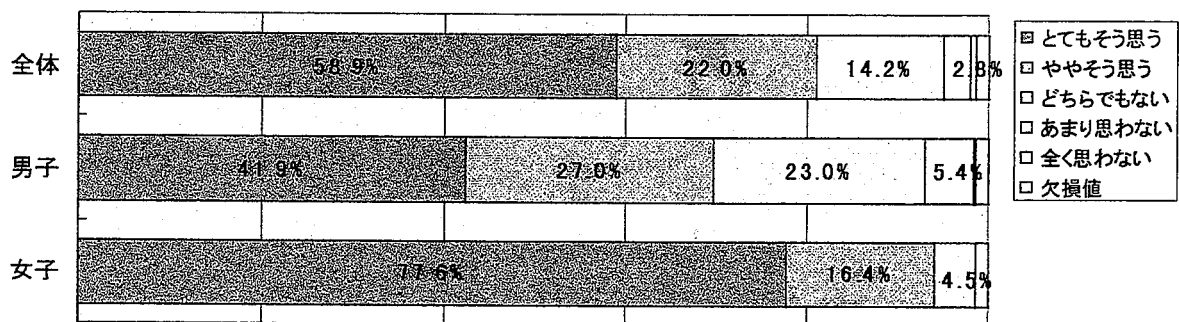


図2-2-6 暴行に対する意識

第7項 薬物乱用に対する意識

シンナーやドラッグ（覚醒剤・マリファナ等）を吸うことはいけないと思うかどうかという意識について、『シンナーやドラッグ（覚醒剤・マリファナ等）を吸うことはいけないことだと思う』と質問文を提示し「1 = 全く思わない」「2 = あまり思わない」「3 = どちらでもない」「4 = ややそう思う」「5 = とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、シンナーやドラッグ（覚醒剤・マリファナ等）を吸うことはいけないと「全く思わない」と回答した者は0.7%、「あまり思わない」と回答した者は1.4%、「ややそう思う」と回答した者は7.1%、「とてもそう思う」と回答した者は85.1%であった（図2-2-7）。この結果、シンナーやドラッグ（覚醒剤・マリファナ等）を吸う行動に対しては、いけないことであるという意識が強いことが明らかになった。男女別の内訳をみると、「全く思わない」「あまり思わない」まで男子では順に1.4%、2.7%、女子ではおらず、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に8.1%、78.4%、女子では順に6.0%、92.5%であった。以上の結果、シンナーやドラッグ（覚醒剤・マリファナ等）を吸う行動については、女子の方が男子よりも「いけないことである」とより強く考えていることが明らかになった。

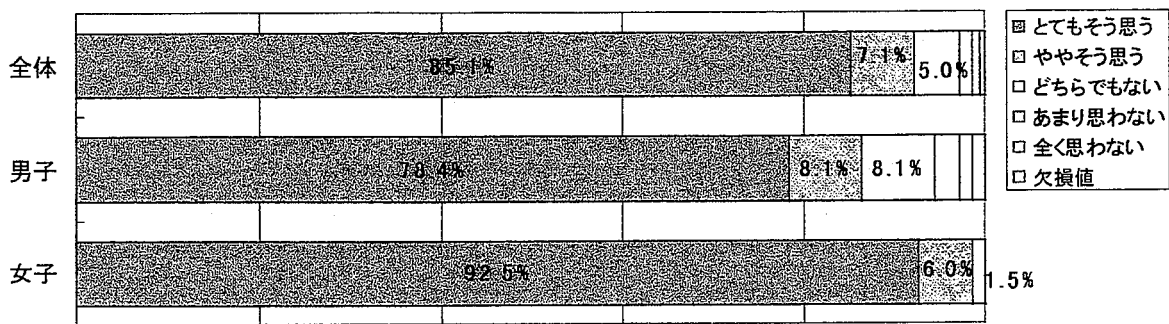


図2-2-7 薬物乱用に対する意識

第8項 性行為を伴わない援助交際に対する意識

お茶やデート、カラオケなどまでの援助交際をすることはいけないと思うかどうかという意識について、『お茶やデート、カラオケなどまでの援助交際をすることはいけないことだと思う』と質問文を提示し「1＝全く思わない」「2＝あまり思わない」「3＝どちらでもない」「4＝ややそう思う」「5＝とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、お茶やデート、カラオケなどまでの援助交際をすることはいけないと「全く思わない」と回答した者は5.0%、「あまり思わない」と回答した者は17.7%、「ややそう思う」と回答した者は31.2%、「とてもそう思う」と回答した者は22.7%であった（図2-2-8）。この結果、お茶やデート、カラオケなどまでの援助交際に対しては、いけないことであるという意識が強いことが明らかになった。男女別の内訳をみると、「全く思わない」「あまり思わない」まで男子では順に9.5%、18.9%、女子では「全く思わない」と回答した者はおらず、「あまり思わない」と回答した者は16.4%、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に35.1%、13.5%、女子では順に26.9%、32.8%であった。以上の結果、お茶やデート、カラオケなどまでの援助交際については、男子の方が女子よりも「いけないことである」という意識が弱いことが明らかになった。

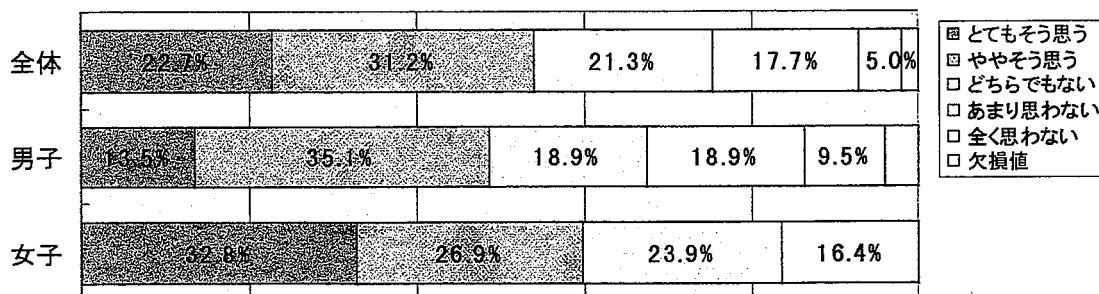


図2-2-8 性行為を伴わない援助交際に対する意識

第9項 性行為を伴う援助交際に対する意識

キスやセックスなどの性的な行為を含む援助交際をすることはいけないと思うかどうかという意識について、『キスやセックスなどの性的な行為を含む援助交際をすることはいけないことだと思う』と質問文を提示し「1＝全く思わない」「2＝あまり思わない」「3＝どちらでもない」「4＝ややそう思う」「5＝とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、キスやセックスなどの性的な行為を含む援助交際をすることはいけないと「全く思わない」と回答した者は1.4%、「あまり思わない」と回答した者は3.5%、「ややそう思う」と回答した者は14.9%、「とてもそう思う」と回答した者は59.6%であった（図2-2-9）。この結果、キスやセックスなどの性的な行為を含む援助交際に対しては、いけないことであるという意識が強いことが明らかになった。男女別の内訳をみると、「全く思わない」「あまり思わない」まで男子では順に2.7%、6.8%、女子では「全く思わない」「あまり思わない」と回答した者はおらず、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に14.9%、48.6%、女子では順に14.9%、71.6%であった。以上の結果、キスやセックスなどの性的な行為を含む援助交際については、男子の方が女子よりも「いけないことである」という意識が弱いことが明らかになった。

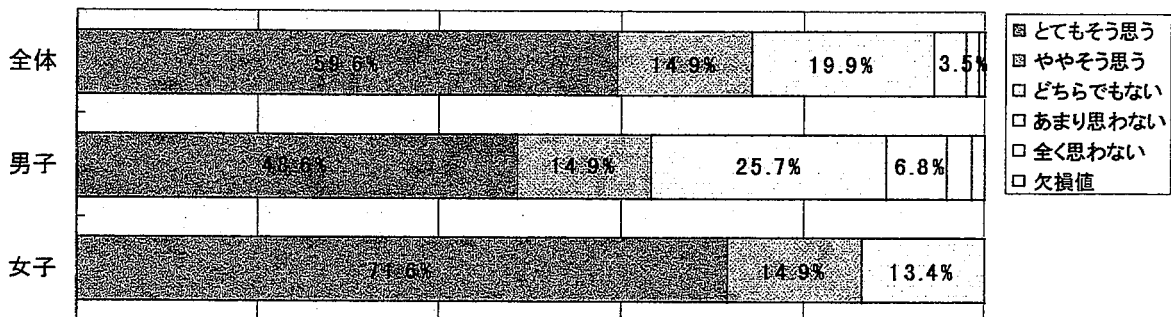


図2-2-9 性行為を伴う援助交際に対する意識

第10項 性的行為の強要に対する意識

相手の意志に関係なく、性的行為を強要することはいけないと思うかどうかという意識について、『相手の意志に関係なく、性的行為を強要することはいけないことだと思う』と質問文を提示し「1＝全く思わない」「2＝あまり思わない」「3＝どちらでもない」「4＝ややそう思う」「5＝とてもそう思う」の5段階評定で回答を求めた。その結果、相手の意志に関係なく、性的行為を強要することはいけないと「全く思わない」、「あまり思わない」と回答した者はおらず、「ややそう思う」と回答した者は18.4%、「とてもそう思う」と回答した者は76.6%であった（図2-2-10）。この結果、相手の意志に関係なく、性的行為を強要する行動に対しては、ほとんどの者がいけないことであるという意識をもっていることが明らかになった。男女別の内訳をみると、「ややそう思う」「とてもそう思う」まで男子では順に21.6%、74.3%、女子では順に14.9%、79.1%であった。以上の結果、相手の意志に関係なく、性的行為を強要することに対する意識については、性別に差がなく、同程度にいけないという意識をもっていることが明らかになった。